

そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネットで配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます。(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)



脱炭素社会に向け、ムダなく使える再エネの利用促進へ! 西塚 和音 (はつらつ創造)



録画配信の
2次元コード

◆地球温暖化対策法の改正をきっかけに

2030年にCO2を2013年比、46%削減への具体的な取り組みへの案は。

環境経済部長 地域脱炭素ロードマップ案でも示されており、その中から本市は実現性が高い施策について、現在策定中の第3次狭山市環境基本計画及び狭山市地球温暖化対策実行計画に位置づけていく。



西口市民広場の
再エネ利用の
照明

◆再生可能エネルギー利用を地域の活力に

資源循環を捉える中で、熱利用はどの程度、加味されているのか。

環境経済部長 稲荷山環境センターでは、ごみを焼却する際に発生した熱をボイラーで回収し、蒸気を熱媒体として稲荷山環境センター内の設備やサピオ稲荷山の温水プールなどで利用している。

◆カーボンフットプリントなどを参考に

CO2削減で見える化していることは。

環境経済部長 毎年度発行している環境レポートの中で、市の事務事業における温室効果ガスの排出量などを公表しているほか、太陽光発電を設置している36の公共施設においては各施設に設置している液晶モニターによって発電量やCO2削減量などが見える化している。

その他のテーマ▶新型コロナウイルスワクチン接種に踏み切れない方にどのように寄り添うのか

近隣市と共同の議会

狭山市が近隣市と共同で運営している「一部事務組合」があります。

この組合を円滑に運営するために、組合議会が設置され、各市から議員が選出されます。

○広域飯能斎場組合議会

飯能にある斎場運営のため3市(飯能市・狭山市・日高市)で構成する議会です。

狭山市選出議員

大沢えみ子、三浦和也、内藤光雄

○埼玉西部消防組合議会

5市(所沢市・飯能市・狭山市・入間市・日高市)で構成され、消防・救急の運営を審議します。

狭山市選出議員

齋藤誠、田村秀二、中村正義

基地対策特別委員会

基地所在自治体の議会として、航空自衛隊入間基地に係る市民の生活環境を改善するための対策にあたり、要望活動などを行います。

令和3年度は、6月8日及び6月22日に委員会を開催し、8月2日に市民の生活環境の改善と基地周辺対策の一層の充実が計られるよう、北関東防衛局及び航空自衛隊入間基地に対し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年度同様に議長、正副委員長が議会を代表して、要望活動を実施いたしました。

委員長	綿貫 伸子
副委員長	福田 正
委員	田中 寿夫 猪股 嘉直
	広山 清志 内藤 光雄
	新良 守克 中村 正義

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。6月定例会では、15名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】

見逃すな! 子供のSOS つらい気持ちを受け止めよう 齋藤 誠 (公明党)



録画配信の
2次元コード

◆子供たちが誰一人置き去りにされない社会のために

①「子供のSOS」に気づいた時の対応は。

②現在のコロナ禍での影響は。

③「生きづらさ」に寄り添い、「助けを求めよう」を育む取り組みの考えは。

学校教育部長 ①気づいた教職員が心配していることを本人に伝え、苦しさやつらさ、不安などの気持ちを傾聴し、本人に寄り添った対応を行っている。また、子供の状況によっては教職員だけでなく、保護者やスクールソーシャルワーカー、さやまっ子相談員など関係機関との連携を図りながら相互に見守りを行っている。

②保護者の働き方の変化などにより、家庭環境にも変化があったことが子供たちの心理面や

環境面に大きな影響を及ぼしている。新型コロナウイルス感染症への対応として、丁寧な手洗いやマスクの着用の徹底に気を配ったり、休み時間の活動の限定や学校行事などの行動を制限されることがストレスとなっている。

教育長 ③生きづらさを抱えている子供に適切な支援ができるよう教育活動の中で組織的に取り組んでいる。また、生活経験が浅い子供たちに、ためらわず助けを求めることのできる力を学校で育成していくとともに、子供の周囲に助けを受容してくれる大人が存在し、いつでも助けを求めることができる、より安全で安心な学校づくりに取り組んでいる。



その他のテーマ▶「SOSの出し方教育」の推進

障害のある子もいない子も楽しめるインクルーシブな遊具を 笹本 英輔 (改進)



録画配信の
2次元コード

◆インクルーシブ=みんな一緒に、包み込む

障害の有無にかかわらず一緒に遊べる遊具を公園に設置する考えは。

都市建設部長 障害の有無にかかわらず、誰もが分け隔てなく利用できるインクルーシブな遊具は、利用者が多様性を身近に感じ、楽しむことができるなど、必要性は認識しており、今後、先進市の事例などを参考に研究していく。

◆小さな頃から多様性を感じる意義もある

上記遊具を学校や子育て施設などに設置していく考えは。

福祉子ども部長 老朽化などで遊具を更新する機会に提案の遊具について検討していく。

その他のテーマ▶コロナ禍での学校ICT利活用の状況は ▶授業参観・学校行事などでICT利活用を

学校教育部長 園児、児童が人の多様性に触れながら、共に生きる心を育むことが期待でき、誰もが同じ場所で楽しむことができる意義があるものと捉えている。



体幹が弱い子も
楽しめるブランコ

◆コロナ禍でも持続可能な方法の研究を

家庭訪問について、ウェブ会議システムを利用しては。

学校教育部長 ウェブ会議システムを利用した家庭訪問や面談については、新型コロナウイルスの感染防止対策、移動時間の短縮や対面する場を選択できる有効性があると考えている。今後、情報セキュリティや個人情報保護、さらに家庭からの要望も把握するなどして研究していきたい。

ここに掲載していない一般質問の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご確認ください。

04-2953-1111 内線3313 FAXが郵送でお届けします。議会事務局にご連絡ください。